

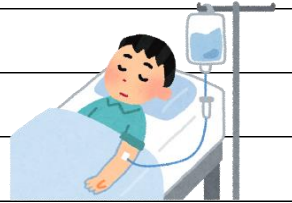
苦しくない鎮静剤使用のご案内 (胃内視鏡検査)



鎮静剤使用料 6,600円(税込)

検査の流れ

①	水薬の服用	胃内視鏡の前に、胃酸の泡を消し、胃の中を見やすくするための水薬を飲みます。
②	点滴針刺入	点滴の針を入れます。
③	喉の麻酔	麻酔のゼリーを喉にためておいて頂きます。(3分間)
④	ベッドへ移動	検査中の体勢に整え、モニター装置を指先に付けます。
⑤	マウスピース装着	マウスピースを口にくわえます。
⑥	静脈麻酔開始	点滴から、麻酔用の薬剤を注入します。
⑦	内視鏡検査開始	口から検査していきます。
⑧	麻酔の中和剤投与	中和剤を使用します。※中和剤の効果時間は短いため、再度ふらつきなどが生じる可能性があります。
⑨	ベッドで休息	検査後は麻酔から回復するまでベッドでお休みいただきます。(約1時間程度)
⑩	点滴針抜去	麻酔が切れたら、点滴の針を抜きます。



鎮静剤を使用後のお仕事は可能です。但し、デスクワーク程度に留め、
外出(打合せ)や乗り物の運転、細かい作業等は避けるようにしてください

鎮静剤使用のメリット

1. 反射やお腹の圧迫感などの苦痛を感じる事が少ない

ウトウトと軽く眠った状態で内視鏡検査を受けることが可能となるため、喉元を通る時に「おえっ」となることや、圧迫感やお腹を突き上げるような苦痛を感じることなく内視鏡検査を受けることができる。「ゲーゲー」言うような苦しい内視鏡検査とならないため、検査する医師も急ぐことなくきちんと詳細に観察することが可能となる。

2. 見逃しのないきちんとした検査を受けることができる

胃の中に空気を十分に入れることが可能となるため、胃のヒダとヒダの間を十分に伸ばすことができ、見逃しのないきちんとした検査を受けることができる。

鎮静剤使用のデメリット

1. 所要時間がかかるため、すぐに帰宅することができない

内視鏡検査後に鎮静剤の効き目が切れるまで、1時間程度休息しなければならず、すぐに帰宅することができない。

2. 鎮静剤の効き目には個人差がある

同じ量の鎮静剤を使用しても、薬剤の効果には個人差があり、効果を感じにくい人や逆に効きやすい人もいる。また、ごくまれに呼吸や血圧に影響する場合がある。

3. 車やバイク・自転車の運転や細かい作業を行うお仕事をすることができない

内視鏡検査を受けた当日は鎮静剤の影響が少し残る可能性があるため、車やバイクの運転や細かい作業を行うお仕事をすることができない。



医療法人社団兜中央会 中島クリニック・健診センター
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8-8
TEL03-3669-0287 FAX03-3666-0868
URL <http://www.nakajimaclinic.com>
E-mail: kenshincenter@nakajimaclinic.com